

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

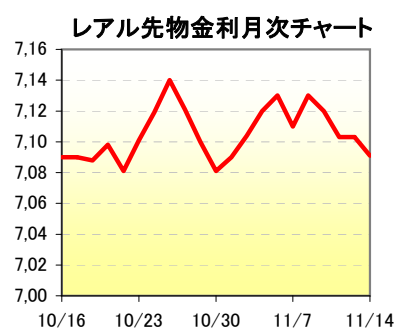
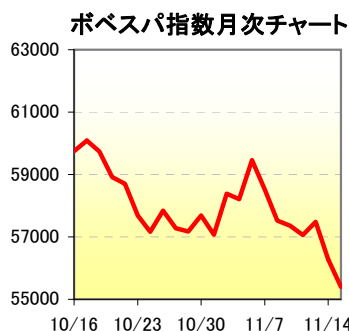
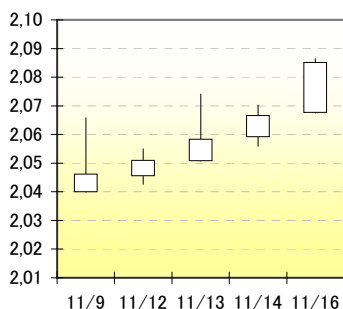


1. マーケット・レート

			11月9日	11月12日	11月13日	11月14日	11月16日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0480	2,0510	2,0730	2,0670	2,0850	+0,0180
	USD/YEN	Spot	79,49	79,46	79,40	80,23	81,30	+1,0700
	EUR/USD	Spot	1,2714	1,2714	1,2708	1,2736	1,2740	+0,0004
	BRL/YEN	Spot	38,85	38,74	38,56	38,81	38,99	+0,1800
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,59	1,55	1,54	1,44	1,44	+0,0022
		1Year(p.a.)	1,72	1,72	1,75	1,65	1,63	-0,0267
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,11	7,11	7,09	7,11	7,12	+0,0099
		1Year(p.a.)	7,26	7,26	7,29	7,33	7,28	-0,0439
Stock	Bovespa		57.358	57.064	57.486	56.279	55.402	-877,03
Bond	CDS Brazil 5y		103,51	103,51	102,88	101,56	107,88	+6,3120
	Global 40		127,000	126,750	126,875	127,000	126,700	-0,3000

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

USD/BRL直近5営業日



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
なし				

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$2.0450で寄り付いた。
- 週初にはギリシャ向け支援策を協議するユーログループが注目されたほか、米国では減税失効と自動的な歳出削減が重なる「財政の崖」に対する懸念が高まったことを受けてリスク資産の売りが優勢となった。レアルは週間高値となるUS\$1=R\$2.0430を付けるも、翌13日にはポジション整理と見られる大口売りを受けてレアルは一気に2.07台を下抜け続落した。
- 週央にかけてレアルは一時買いが優勢となるも、大口の資金流出の噂から売りに一転した。しかし、レアル安が数日に亘って続く中、伯中銀によるドル売り介入警戒感からレアルの買い戻しが見られた。
- 祝日明けの16日にはレアルの流動性が低下する中、米鉱工業生産が予想を下回る結果となったことを受けてリスク資産の売りが優勢となったほか、投機的と思われるドル買いが見られるとレアルは一気に下落し、週間安値となるUS\$1=R\$2.0840を付けた後はやや買い戻され、結局US\$1=R\$2.0790で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A**5.来週発表される主要経済指標**

日付	イベント	期間	予想	前回
11/19	FGVインフレ率-IGP-M(プレビュー)	nov/18	-0.14%	-0.19%
11/19	FGV CPI IPC-S	nov/18	0.40%	0.43%
11/19	貿易収支(FOB)-週次	43405	--	\$891M
11/21	FIPE消費者物価指数(週次)	42309	0.67%	0.75%
11/22	失業率	Oct	5.3%	5.4%
11/22	IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比)	Nov	0.51%	0.65%
11/22	対内直接投資	Oct	\$6000M	\$4393M
11/22	経常収支(月次)	Oct	-\$4700M	-\$2596M
11/23	FGV CPI IPC-S	44866	--	--

6.来週の為替市場注目点**予想相場レンジ : 2.02-2.10**

今週は 15 日がブラジルで祝日だったことからレアル市場の流動性は限定的となった。先週に続いて欧米にてリスク資産売りの動きが強まるとレアルも売りが優勢となり、売られすぎ感から伯中銀によるドル売り介入警戒感が一時的に見られるも、数回に亘るポジション整理と見られる大口売りが見られるとレアルの下値が拡大した。来週は米国の税や財政政策など海外情勢に不透明感が強い中、リスク資産の売り傾向が続くと予想される。レアルは 2.02 台を上回る可能性が低い一方レアル安に対する警戒感は低く、取引レンジは来週以降も拡大することが予想される。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。